

総務環境常任委員会会議記録

日 時 令和3年4月9日（金曜日）

午前10時 0分 開議

場 所 水戸市議会 第1・第2委員会室

午前10時24分 散会

付託事件

(1) 所管事務調査

1 本日の会議に付した事件

(1) 報告事項

① 第6回水戸黄門漫遊マラソンについて

(スポーツ課)

2 出席委員（6名）

委員長	小 泉 康 二 君	副委員長	佐 藤 昭 雄 君
委員	滑 川 友 理 君	委員	田 中 真 己 君
委員	高 倉 富 士 男 君	委員	福 島 辰 三 君

3 欠席委員（なし）

4 委員外議員出席者（1名）

議 長 須 田 浩 和 君

5 説明のため出席した者の職、氏名

市長公室長	小 田 木 健 治 君	秘書課長	篠 原 芳 之 君
政策企画課長	宮 川 孝 光 君	交通政策課長	川 上 悟 君
情報政策課長	北 條 佳 孝 君	みとの魅力 発信課長	出 沼 大 君
総務部長	園 部 孝 雄 君	総務法制課長	上 垣 外 泰 之 君
行政経営課長	熊 田 泰 瑞 君	人事課長	安 里 裕 行 君
財産活用課長	谷 津 茂 男 君	市民課長	渡 邊 徳 子 君
財務部長	白 田 敏 範 君	税務事務所長	川 津 英 臣 君
財務部参事兼 財政課長	梅 澤 正 樹 君	税務事務所 参事兼 市民税課長	佐々木 信 也 君
契約検査課長	鈴 木 和 男 君	資産税課長	浅 野 一 志 君
収 税 課 長	高 安 正 紀 君		
市民協働部長	川 上 幸 一 君	市民協働部 副 部 長	小 嶋 いつみ 君

市民協働部 技 監	太 田 達 彦 君	市民協働部 参 事 兼 市民生活課長	白 石 嘉 亮 君
市民協働部 参 事 兼 スポーツ課長	柏 直 樹 君	市民協働部 技 監 兼 体育施設整備 課 長	青 山 和 夫 君
防災・危機 管 理 課 長	小 林 良 導 君	生活安全課長	村 沢 晶 弘 君
文化交流課長	沼 田 誠 君	新 市 民 会 館 整 備 課 長	須 藤 文 彦 君
男 女 平 等 参 画 課 長	石 塚 美 也 君		
生活環境部長	佐 藤 則 行 君	環境保全課長	柴 崎 美 博 君
衛生事業課長	黒 澤 純 一 郎 君	ごみ減量課長	栗 原 千 尋 君
廃棄物対策 課 長	亀 井 俊 道 君	清掃事務所長	武 田 和 馬 君
会計管理者兼 会 計 課 長	小 田 木 義 弘 君		
選挙管理委員会 事 務 局 長	外 岡 淳 一 君		
監 査 委 員 事 務 局 長	和 田 隆 君	監 査 委 員 事 務 局 次 長	永 井 誠 一 君
議会事務局長	小 嶋 正 徳 君	議 会 事 務 局 次 長 兼 総 務 課 長	天 野 純 一 君
議 事 課 長	大 嶋 実 君		
6 事務局職員出席者			
議 事 係 長	武 井 俊 夫 君	書 記	武 田 侑 未 子 君

午前10時 0分 開議

○小泉委員長 おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから総務環境委員会を開会いたします。

議事に入ります前に、4月1日付をもちまして人事異動がございましたので、これに伴う役付職員の紹介を行います。

なお、前例では、人事異動のあった係長以上の役職について紹介を行っていたところではありますが、今回は、人事異動のあった出席説明員についてのみ紹介を行うこととし、出席説明員以外の人事異動のあった役付職員につきましては、お手元に配付してあります役付職員配置図のとおりでありますので、御了承を願います。

それでは、別紙、役付職員配置図に沿って、市長公室から順次、紹介を願います。

○小田木市長公室長 市長公室の異動のありました課長を御紹介いたします。

秘書課長の篠原芳之でございます。

○篠原秘書課長 篠原でございます。どうぞよろしく申し上げます。

○小田木市長公室長 交通政策課長の川上悟でございます。

○川上交通政策課長 川上でございます。どうぞよろしく願います。

○小田木市長公室長 みとの魅力発信課長の出沼大でございます。

○出沼みとの魅力発信課長 出沼でございます。よろしく願います。

○小田木市長公室長 以上、よろしく願います。

○園部総務部長 続きまして、総務部の異動者を紹介させていただきます。

人事課長の安里裕行でございます。

○安里人事課長 安里です。どうぞよろしく申し上げます。

○園部総務部長 市民課長の渡邊徳子でございます。

○渡邊市民課長 渡邊でございます。よろしく願います。

○園部総務部長 どうぞよろしく願います。

○白田財務部長 続きまして、財務部の異動のありました役付職員を紹介させていただきます。

税務事務所長の川津英臣でございます。

○川津税務事務所長 川津でございます。どうぞよろしく願います。

○白田財務部長 参事兼市民税課長の佐々木信也でございます。

○佐々木税務事務所参事兼市民税課長 佐々木でございます。どうぞよろしく願います。

○白田財務部長 資産税課長の浅野一志でございます。

○浅野資産税課長 浅野でございます。どうぞよろしく願います。

○白田財務部長 収税課長の高安正紀でございます。

○高安収税課長 高安でございます。よろしく願います。

○白田財務部長 以上、どうぞよろしく願います。

○川上市民協働部長 続きまして、市民協働部でございます。

参事兼市民生活課長，白石嘉亮でございます。

○白石市民協働部参事兼市民生活課長 白石でございます。よろしく申し上げます。

○川上市民協働部長 文化交流課長，沼田誠でございます。

○沼田文化交流課長 沼田でございます。どうぞよろしく申し上げます。

○川上市民協働部長 新市民会館整備課長，須藤文彦でございます。

○須藤新市民会館整備課長 須藤と申します。どうぞよろしく申し上げます。

○川上市民協働部長 どうぞよろしく申し上げます。

○佐藤生活環境部長 続きまして，生活環境部でございます。

環境保全課長，柴崎美博でございます。

○柴崎環境保全課長 柴崎でございます。どうぞよろしく申し上げます。

○佐藤生活環境部長 ごみ減量課長，栗原千尋でございます。

○栗原ごみ減量課長 栗原でございます。よろしく申し上げます。

○佐藤生活環境部長 清掃事務所長，武田和馬でございます。

○武田清掃事務所長 武田でございます。どうぞよろしく申し上げます。

○佐藤生活環境部長 どうぞよろしく申し上げます。

○和田監査委員事務局局長 監査委員事務局局長を拝命いたしました和田隆でございます。どうぞよろしく申し上げます。

次長の永井誠一でございます。

○永井監査委員事務局次長 永井でございます。よろしく申し上げます。

○和田監査委員事務局局長 どうぞよろしく申し上げます。

○小泉委員長 次に，当委員会の担当書記が替わりましたので，自己紹介を願います。

○武井議事係長 議会事務局議事課の武井と申します。どうぞよろしく申し上げます。

○小泉委員長 以上で，人事異動に伴う出席説明員の紹介を終わりにいたします。

これより議事に入ります。

それでは，報告事項の説明を行います。

(1)の第6回水戸黄門漫遊マラソンについて，執行部から説明を願います。

柏参事兼スポーツ課長。

○柏市民協働部参事兼スポーツ課長 第6回水戸黄門漫遊マラソンにつきまして，スポーツ課提出の資料により御説明いたします。

1の目的といたしまして，スポーツを通じた健康増進や体力づくりを図るとともに，スポーツコンベンションによる新たなにぎわいや交流の創出，さらには，中心市街地をはじめとする地域経済の活性化を図ることとしております。

2の主催は，水戸黄門漫遊マラソン実行委員会ほか4団体でございます。

3の開催概要につきましては，第6回となる今回は10月31日，日曜日に茨城県三の丸庁舎広場をメイン会場に開催いたします。コースにつきましては，これまでのコースの公認期間が5年間でありましたこと

から、同じコースを今回改めて日本陸連に継続公認申請し、国道50号、南町2丁目交差点前をスタート、県三の丸庁舎正門をフィニッシュで行ってまいります。

4の種目及びエントリー数につきましては、これまではマラソンの部のほか、5キロメートルの部と3キロメートルの部を設けておりましたが、今回は5キロメートルの部と3キロメートルの部は中止し、マラソンの部1種目で実施し、定員も8,000人として、スタート地点やコースでの人的距離を確保し、実施してまいります。水戸市民枠はこれまでどおり2,000人で変更はございません。参加料につきましては8,000円、また、医師や看護師、准看護師や救命救急士の医療従事者の方は5,000円で、いずれも据置きのまま実施してまいります。エントリー期間は、水戸市民先行枠が来週15日木曜日から21日水曜日、一般枠が今月23日金曜日から6月30日水曜日としております。

5のボランティアにつきましては、これまで同様に3,000人を募集し、会場案内や手荷物預かり、沿道整理などを担っていただきます。

6の主な新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、定員を縮減するとともに、ランナーの方には、大会当日、体調管理チェックシートの提出や検温を実施してまいります。また、(3)のボランティアの皆様には、マスク着用のほか、アルコール除菌液やビニール手袋などを御活用いただくとともに、日本陸連が定めるガイダンスに従って感染症対策を実施してまいります。

今後、実行委員会ではコロナ対策として、医師や保健師、消防や警察、競技運営関係者などから成る感染症対策室を立ち上げ、感染症予防対策や感染者が発生した場合の行動計画などの対策マニュアルを策定し、より安全で安心した大会となるよう、具体的かつ万全に感染症対策を講じてまいります。

大会に向けましては、コロナ禍の中で逐次状況が変わってはおりますが、ランナーやボランティア、沿道での応援者など、大会に携わる多くの関係者や市民の皆様が安全に安心して大会に関われるように、引き続き、医療関係や消防、警察や陸上競技団体をはじめ、関係機関、団体等と十分に連携し、情報を共有しながら準備を万全にし、水戸ならではのおもてなし力のある魅力あふれる充実した大会にしてまいりたいと考えております。

下段は、前々回の第4回大会の結果となっております。また、大会の開催案内パンフレットを添付いたしましたので、お目通し願います。

説明は以上でございます。

○小泉委員長 それでは、内容について御質問等がございましたら、発言を願います。

福島委員。

○福島委員 これには、コロナワクチンの接種の義務とか報告とかそういうものは一切ないんですか。我々が心配するのは、みんな東京だの大阪から来て、水戸市へコロナを持ってこられるのが一番心配。だから、その頃はもう10月なんだから、コロナワクチンの接種は大体終わっていると思うんだけど、コロナワクチンの接種を義務づけるとか、それを接種したという届出とか、そういうものはこの枠には一切ないの。

○小泉委員長 柏スポーツ課長。

○柏市民協働部参事兼スポーツ課長 ただいまの福島委員の御質問にお答えいたします。

この大会の開催に当たっては、今後、実行委員会のほうで新型コロナウイルスの対策室を立ち上げて検討をし

ていきますが、今のところ、コロナワクチン接種のチェックは設ける予定はありません。

○小泉委員長 福島委員。

○福島委員 そうすると、医療従事者もワクチンを接種していないということなの。そういう義務づけはないと。そうすると、全国からこれだけ来る人はみんな、コロナになっても構わないということなんだね。コロナの対策室は設けるが、一切その範囲とか枠とか何かがなければ、みんな水戸市へコロナを持ってこられるだろうよ、これは。そういうのはどうぞ御自由に持ってきてくださいと言うの、歓迎しますと。

○小泉委員長 柏課長。

○柏市民協働部参事兼スポーツ課長 御質問にお答えをいたします。

今後、その対策室の中で、今の委員御指摘のとおり、コロナを入れないためにどのようにすればいいか十分に検討していきたいと思います。

○小泉委員長 福島委員。

○福島委員 じゃ、要望しておきますが、最低限ね、医療従事者はワクチン接種をしたか、しないかの枠づけをすとか、それから、これだけ人数がたくさん集まるんだから、例えば、当日、受付や給水担当の人もみんな非常にこのコロナにかかりやすい状況にあるんだよ。だから、そこら辺を要望だけど、市役所の職員もなるんだから。来た人は絶対ならないとあなたに保証してもらえればそれでいいんだが、コロナ感染症対策室の人に保証してくださいと、一切コロナにはなりませんというぐらい、対策室をつくるなら厳しくやってもらいたい、強く要望しておきます。いいです。

○小泉委員長 ほかにございますか。

高倉委員。

○高倉委員 基本的には、今、第6回の大会ということで、この漫遊マラソンも回を重ねて非常に充実をしてきて、日本のマラソン百選ですか、そちらに選ばれるぐらいに成長してきたということで、非常に期待も大きくて、去年中止になったのでね、今年は何とか安全な大会を開いてほしいと、そういう市民の声もたくさんお聞きしております。

ただ、今福島委員も言われたように、今回はコロナ対策というのが非常に大事になってくるんだろうなと私も思います。前の実行委員会でもちょっと指摘をさせていただいたんですが、特に密になる場面ってたくさんあると思うんですが、例えば、スタートの段階であるとか、あと更衣室の問題ですね、今、三の丸小学校などを中心に体育館でやっていますけれども、通常だと非常に密な環境だと思うんですよ。あと、中にはまちの中で着替えをしている方がいる、そういう例もたくさんあって、そういったものをこれからどうやって整理をして、安全な大会にしていくかだと思うんですが、その辺の検討状況というのは、先ほど、対策をしてと言っていましたけれども、今の段階でそういったものに対して具体的な検討状況というものはありますか。

○小泉委員長 柏課長。

○柏市民協働部参事兼スポーツ課長 ただいまの高倉委員の御質問にお答えをいたします。

これまで、実行委員会の中では医師や保健師、消防や警察等々と協議をさせていただきまして、3キロメートル、5キロメートルの中止や1万人から8,000人に縮減をして開催しようということで協議をし

てきました。委員御指摘のように、スタート地点や更衣室などは非常に密になることが想定されますので、そういうことも考慮しながら8,000人という定員を設けさせていただきました。

今後は、さらに対策室を設けることによって、より具体的に人的距離を確保しながら、安全にできるように検討していきたいというふうに考えております。

○小泉委員長 高倉委員。

○高倉委員 分かりました。

具体的にね、そのように対応していただきたいなと思います。

あと、ボランティアについて、通常どおり3,000人の募集をかけるということなんですが、これは一般の市民のボランティアもあるんですが、中学生の給水ボランティアってありますよね。各中学校にお願いして、中学生に出ていますね。その辺はどうなのでしょう。今回、中学生ってワクチン対象じゃないですよね。そういう方は今回もやっていただくという考えなのかな。

○小泉委員長 柏課長。

○柏市民協働部参事兼スポーツ課長 中学生ボランティアについての御質問にお答えをいたします。

これまででは、中学生や多くの方に御協力を頂いて、給水の提供や応援などのボランティアをしていただきました。非常に高評価を頂いているところであります。

しかしながら、第6回大会におきましては、今、委員御指摘のように、中学生についてはワクチンも接種しませんし、事務局のほうでお医者様と相談をしている中では、中学生の協力は今の現状でいくと厳しいのではないかと回答を頂いているところです。ただ、中学生にも何かしらは関わっていただきたいと考えておりますので、そういうボランティアとして、もしくは何か関わられるような手だてを考えていきたいというふうに考えております。

○小泉委員長 高倉委員。

○高倉委員 分かりました。

安全にということですけども、これは中学生にとっても非常に貴重な体験でもあったわけで、そういう形で、何らかの形で関わりができるようになるといいと思います。

最後に、もう1点です。5キロメートル、3キロメートルは今回やらないということで、前に代替の大会を検討するというような話も聞いていたんですが、その辺りはどうなのでしょう。

○小泉委員長 柏課長。

○柏市民協働部参事兼スポーツ課長 3キロメートル、5キロメートルの大会についての御質問にお答えをいたします。

今回はコロナ禍ということもありまして、3キロメートルと5キロメートルのほうは中止をさせていただきました。今、スポーツ振興協会や陸上競技協会のほうと連携を図りながら、代替となる大会を検討しているところでありますので、何かしら大会を進めてまいりたいというふうに考えております。

○小泉委員長 福島委員。

○福島委員 私が心配するのは、この申込みの4月23日から6月30日までの募集期間、これは書類で来るの、申込人が来るの。密の問題が、いや、柏課長が大丈夫だと言えればいいけれども。

○小泉委員長 全てインターネットの申込みですよ。

○福島委員 インターネットなの。書類等は来ないんだ。

○小泉委員長 はい。

○福島委員 そうすると、コロナにかかっていた人が申し込んでくることはないんだ。

○小泉委員長 それは分からないですけども。

○福島委員 ただ、そこら辺の対応を実行委員会のできるんだから、万全を期していただきたいと。いいです。

○小泉委員長 滑川委員。

○滑川委員 ちょっと関連して、申込みについてお伺いしたいんですけども、たしか実行委員会でも同様の件が上がったかもしれないんですが、ちょっと確認のため再度質問させていただきます。

完全にインターネット、ウェブのみの申込みにした理由というのは、今までもそうだったのか、それとも今回、新たにインターネットのみとしたのか。もし、今回からであれば、今までにどのくらい電話の申込みがあったのか、その辺を再度御質問したいと思います。

○小泉委員長 柏課長。

○柏市民協働部参事兼スポーツ課長 ただいまの申込方法についての御質問にお答えいたします。

これまでは、インターネットと電話との2つの方法により申込みを行ってまいりました。しかし、申込方法のうち、インターネット経由がほとんどでありまして、電話の申込みと比べますと、約98%を超える方々がインターネットでお申込みを頂いてまいりました。万が一、大会が中止となった場合とか緊急のときに連絡をしたいという場合には、インターネットからであれば、情報を正確で迅速に配信することができますので、今回はインターネットのみのお申込みとさせていただきます。

なお、インターネットが不慣れな方につきましても、簡単、スムーズに申込みをできるようなシステム構築を設けていったり、事務局で入力方法をアドバイスしたりして、万全を期していきたいと考えております。

○小泉委員長 ほかにございませんか。

田中委員。

○田中委員 皆さんと同じような心配ではあるんですが、この医療従事者が5,000円というのは、出走者であって、別に大会を支えるスタッフという意味ではないんだろうと思うんですけども、さっきおっしゃっていた対策室というのは、どういう構成でどういうことを決めていくのかということを知りたいんですが、通常の第5回までのものと違う何か体制を取るのかどうなのかということだとかですね、あるいは、特別に陽性、陰性の確認はしない、つまり事前に検査をするわけでもないんだろうと思うんですけども、そういったここにあるようなガイダンスというものが示されていますが、こういったところが主な留意点として示されているのか、その点もあわせて聞かせていただけますか。

○小泉委員長 柏課長。

○柏市民協働部参事兼スポーツ課長 ただいまの感染予防策についての御質問にお答えをいたします。

まず、ランナー募集のところの医療従事者につきましては、医師や看護師、准看護師、救命救急士の方で、一般ランナーとして走っていただいて、万が一、コース上で事故が起きた場合には、一度走るのをやめてい

ただいで協力を頂く。救急車や医療関係者にバトンタッチしたならば、またもちろん走っていただくのはオーケーなんです、そういう形の医療従事者となっております。

それから、今後立ち上げます対策室につきましては、医師や保健師、それから消防や警察、競技団体関係者の代表者から成ります専門部会を設けまして、検討していきたいというふうに考えております。

今までも、医療スタッフの方々については、医師や看護師等について協力を頂いておりましたが、またそれとは別に組織を立ち上げて、感染予防対策や感染者が発生した場合の行動計画などの対策マニュアルを策定して、それを実行に移していこうというふうに考えております。

○小泉委員長 よろしいでしょうか。

○田中委員 いいです。

○小泉委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小泉委員長 ないようですので、この件について終わります。

以上で、報告事項を終わります。

それでは、以上をもちまして、本日の総務環境委員会を散会いたします。

御苦労さまでした。

午前10時24分 散会